

**記入例**

※Altキー+Enterキーを押すと改行できます。

**特定施設等設置等届**

実際に届出する年月日を記入してください。  
 (着手予定日の60日前までに届出が必要です。)

年 月 日

- ➡届出する事業者の社名・代表者（役職含む）・連絡先・電子メールアドレス・担当者名を記入してください。（ゴム印可）
- ➡押印を省略しても届出可能ですが、電子メールアドレスの記入をお願いします
- ➡法人の代表者が記入・押印された委任状があれば、工場長等を事業場の代表者としても構いません。

西宮市長様

届出者（氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名）

氏名又は名称 **△○□株式会社**  
 (〒○○○ - △○○○)

住所 **西宮市○○町○○番○○号**

代表者の氏名 **代表取締役 西宮 ○太郎**

電話番号 **0798-○○-○△□×**

電子メール **×○□@▲■●.◎▽.▼◇**

担当者名 **製造部 西宮 □一郎**

工場等の名称	資本の額又は出資の総額
<b>△○□株式会社西宮工場</b>	○, ○○○千円 <b>会社の資本額を記入してください。</b>
工場等の所在地	
兵庫県西宮市 <b>○○町○○番○○号</b>	
業種	主な製品又は加工の種類
<b>○○製品製造業</b>	<b>○○製品</b> <b>工場等での主製品等を記入してください。</b>
作業の種類 別添作 <b>日本標準産業分類の中分類から該当するものを記入してください。（総務省HP参照）</b>	常時使用する従業員の数 <b>150人</b> <b>工場等で常時使用する従業員数を記入してください。（派遣等を含む）</b>
特定施設等の種類、構造、配置並びに使用及び管理の方法	
別紙のとおり	
ばい煙等の処理の方法	工事の着手年月日
別紙のとおり	別紙のとおり
工事の完成年月日	特定施設等の使用開始年月日
別紙のとおり	別紙のとおり
備考	

**記入例（設置）**

※Altキー+Enterキーを押すと改行できます。

- 1 ばい煙及び粉じんに係るもの
  - (1) ばい煙発生施設の構造等

工場等における施設番号		A-01	施設番号は、工場等で呼称するものでA-01等で記入してください。
施設の種別		第14項 廃棄物焼却炉	特定施設の項番号と種類を記入してください。
名称・型式		ストーカー式焼却炉 ○社製 ASD-HOU型	一般的な施設名称、メーカー名・型式等を記入してください。
規          模	伝熱面積 ( m <sup>2</sup> )	—	【必須項目】 メーカーのカタログ値等を参考に記入してください。
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 L / h)	—	
	原料の処理能力 ( t / h )	—	
	火格子面積・羽口面断面積 ( m <sup>2</sup> )	1.5	
	変圧器の定格容量 ( K V A )	—	
	触媒に付着する炭素の焼却能力 ( k g / h )	—	
	焼却能力 ( k g / h )	150	
	燃焼室の容積 ( m <sup>3</sup> )	0.8	
	乾燥施設の容量 ( m <sup>3</sup> )	—	
	電流容量 ( K A )	—	
ポンプの動力 ( K W )	—		
工事の着手年月日	令和○年○月○日	年 月 日	
届出を受理してから60日を経過しないと工事着手できません。			
工事の完成年月日	令和×年×月×日	年 月 日	
特定施設等の使用開始年月日	令和△年△月△日	年 月 日	

(2) ばい煙発生施設の使用及び管理の方法

工場等における施設番号		A-01 別紙1-(1)と同様に施設番号を記入してください。						
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	8時 ~ 20時 時間/回 回/日 30 日/月			時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月			
	季節変動	—						
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	汚泥：廃液						
	使用割合	80：20						
	原材料中の成分割合 (%)	硫黄分	—					
		カルシウム分	—	ふっ素分	—	カルシウム分	—	ふっ素分
	1日の使用量	600kg/日						
使用する燃料のうち、ばい煙 (SO <sub>x</sub> ・NO <sub>x</sub> ・ばいじん) の発生に影響を及ぼすもののみについて記入してください。								
燃料又は電力	種類	A重油						
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	0.01wt%	硫黄分	0.30wt%	灰分	硫黄分	
	発熱量	高位 8,900kcal/L						
	通常の使用量 (L/h)	10						
	混焼割合	重油専焼						
燃料の種類は具体的に記載してください。 液体燃料の場合は、重量比か容量比かを明らかにし、メーカー保証値の最大を記入してください。								
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	湿り	最大	500	通常	250	最大	通常	
	乾き	最大	400	通常	200	最大	通常	
排出ガス温度 (℃)	250							
【必須項目】 排出ガス量・温度 (通常時) は必ず記入してください。								
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大	0.01	通常	0.006	最大	通常	
	硫酸酸化物 (容量比 ppm)	最大	3	通常	2	最大	通常	
	カルシウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	—	通常	—	最大	通常	
	塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	【必須項目】 ばい煙の濃度は、設備仕様書やメーカー保証値等を記入してください。ただし、下記条件のものとし、 ① 乾きガス中の濃度 ② ばい煙処理施設がある場合は処理後の濃度						
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	【必須項目】 ばい煙の濃度は、設備仕様書やメーカー保証値等を記入してください。ただし、下記条件のものとし、 ① 乾きガス中の濃度 ② ばい煙処理施設がある場合は処理後の濃度						
	ふっ素、ふっ化水素、ふっ化けい素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	—	通常	—	最大	通常	
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	—	通常	—	最大	通常	
ばい煙量	硫酸酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	0.0008	通常	0.0004	最大	通常	
備考								

(3) ばい煙の処理の方法

ばい煙に係る処理施設の工場等における施設番号		♪	—	
処理に係るばい煙発生施設の工場等における施設番号		◎	A-01	
ばい煙処理施設の種類・名称・型式		☆	ベンチュリースクラバー 社製 absd-ia20	
工事の着手年月日		令和〇〇年〇月〇日		年 月 日
工事の完成年月日		令和×年×月×日		年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		令和△年△月△日		年 月 日
排出ガス量 ( N m <sup>3</sup> / h )	最大	500		<p>ばい煙処理施設を設置していない場合は「—」を♪の欄に記入してください。</p> <p>ただし、ばい煙処理施設ではない「煙突」にて排出する場合は、工場等で呼称するもので施設番号を記入してください。</p> <p>◎の欄には、別紙1及び別紙2と同様に施設番号を記入してください。</p> <p>電気集じん機やベンチュリースクラバー等のばい煙処理施設を設置する場合は、☆の欄にメーカー及び型番を含め記入してください。</p> <p>ばい煙処理施設ではない「煙突」や「排気筒」により排出する場合でも、☆の欄に記入してください。</p>
	通常	250		
排出ガス温度 ( °C )	処理前	250		
	処理後	80		
ばいじん ( g / N m <sup>3</sup> )	処理前	0.07		
	処理後	0.006		
硫酸化物 ( 容量比 p p m )	処理前	160		
	処理後	2		
カドミウム及びその化合物 ( m g / N m <sup>3</sup> )	処理前	—		
	処理後	—		
塩素 ( m g / N m <sup>3</sup> )	処理前	—		
	処理後	—		
塩化水素 ( m g / N m <sup>3</sup> )	処理前	—		
	処理後	—		
ふっ素、ふっ化水素及びふっ化けい素 ( m g / N m <sup>3</sup> )	処理前	—		
	処理後	—		
鉛及びその化合物 ( m g / N m <sup>3</sup> )	処理前	—		
	処理後	—		
硫酸化物 ( N m <sup>3</sup> / h )	最大	0.064		
	通常	0.0008		
	処理前	0.032		
	処理後	0.0004		
ばいじん	ばいじん	98		
	硫酸化物	99		
	カドミウム及びその化合物	—		
	塩素	—		
	塩化水素	—		
	ふっ素、ふっ化水素及びふっ化けい素	—		
鉛及びその化合物	—			
	—			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時間/回	8	
	季節変動	—		
排出口の実高さ ( m )			30.0	
補正された排出口の高さ ( m )			34.1	
排出速度 ( m / s )			3.3	

処理施設の入口、出口濃度を記入してください。  
処理施設がない場合は「—」を記入してください。

処理能力は設備仕様書やメーカーカタログ等を参照に記入してください。  
ばい煙濃度は乾きガス中のものとしてください。

**【必須項目】**  
 排出口の実高さは、地上からの高さとしてください。  
 陣笠がある場合は、H<sub>o</sub>=H<sub>e</sub>としてください。  
 補正された排出口の高さや排出速度等を算出した過程の分かる計算表を必ず添付してください。

(4) 有害物質の種類、構造、使用の方法及び有害物質の処理の方法

工場等における施設番号		B-01	施設番号は、工場等で呼称するものでB-01等で記入してください。	
施設の種別		第21項 塗装施設	特定施設の項番号と種類を記入してください。	
名称・型式		スプレーガン ○社製 Ray-626	一般的な施設名称、メーカー名・型式等を記入してください。	
規模（能力）		—		
工事の着手年月日		令和○年○月○日	年月日	
工事の完成年月日		令和×年×月×日	年月日	
特定施設等の使用開始年月日		令和△年△月△日	年月日	
使用の方法	原料の種類	溶剤系塗料 (トルエン20%・キシレン10%)		
		使用割合(%)	100	原材料中の有害物質の含有量が分かる場合は記入してください。
	使用量	1時間当たり	175kg/h	
		1日当たり	3510kg/日	
	使用温度(℃)	常温		
	製品回収率(%)	—		
処理の方法	発生が予想される有害物質の種類		トルエン 発生が予想される物質は全て記入してください。発生理由についても記入してください。	
	発生理由		吹付塗装による飛散	
	処理施設の種別・名称・型式		活性炭吸着装置 △社製 uhgt-65型	
	排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	処理前	20,000	処理前後の排出ガス・温度・排出が予想される物質について設備仕様書等を参考に記入してください。
		処理後	20,000	
	排出ガス温度(℃)	処理前	常温	
		処理後	常温	
	排出口の有害物質濃度(ppm)	処理前	120	
		処理後	1.5	
	捕集効率(%)		97%以上	
排ガス集煙(集じん)方法(又はできない理由)		排風機		
煙突・フード等の大きさ(高さ×頂口径)		20mH×600		
排出速度(m/s)		20		
管理計器の種類		—		

2 粉じんに係るもの

(1) 粉じんの施設の種類、構造、使用の方法及び粉じん処理の方法

工場等における施設番号		A-01	施設番号は、工場等で呼称するものでA-01等で記入してください。	
施設の種類の種類		第17項 切断機	特定施設の項番号と種類を記入してください。	
名称・型式		ランニングソー鋸盤 ●社製 0-98型	一般的な施設名称、メーカー名・型式等を記入してください。	
規模（能力）		12.5 kW	【必須項目】メーカー仕様書等から記入してください。	
工事の着手年月日		令和〇年〇月〇日	年月日	
工事の完成年月日		令和×年×月×日	年月日	
特定施設等の使用開始年月日		令和△年△月△日	年月日	
使用の方法	原材料の種類	木材		
		使用割合（%）	100	
	使用量	1時間あたり	0.5t/h	原材料は具体的に記入してください。時間・1日当たりの使用量が分かっている場合は、記入してください。
		1日あたり	3.8t/日	
	使用温度（℃）	常温		
	製品回収率（%）	—		
処理の方法	発生が予想される粉じんの種類		木屑 発生が予想される粉じんは全て記入してください。発生理由についても記入してください。	
	発生理由		切断による発じん	
	処理施設の種類の種類・名称・型式		バグフィルター △社製 HAS-87型	
	排出ガス量（Nm <sup>3</sup> /h）	処理前	600	処理方法は設備仕様書やメーカーカタログ等を参照に記入してください。排出ガス量は湿りガス量を記入してください。
		処理後	540	
	排出ガス温度（℃）	処理前	35	
		処理後	35	
	排出口の粉じん濃度（g/Nm <sup>3</sup> ）	処理前	1.5	
		処理後	0.3	
	捕集効率（%）		80	
排ガス集煙（集じん）方法（又はできない理由）		局所集じん		
煙突・フード等の大きさ（高さ×頂口径）		30m×0.3m		
排出速度（m/s）		10		
管理計器の種類		—		

(2) 粉じん発生施設(たい積場)の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号		C-01	施設番号は、工場等で呼称するものでC-01等で記入してください。		
名称・型式		土砂堆積場 円形野積方式	一般的な施設名称、メーカー名・型式等を記入してください。		
規模	面積 (m <sup>2</sup> )	200	【必須項目】 堆積場の規模を記入してください。		
	たい積能力 (t)	10			
工事の着手年月日		令和〇年〇月〇日	年 月 日		
工事の完成年月日		令和×年×月×日	年 月 日		
特定施設等の使用開始年月日		令和△年△月△日	年 月 日		
使用及び管理の方法	たい積物の種類・性状・通常の年間たい積量 (t/年)		土砂、比重5.6 平均粒度0.5mm、水分20 500t/年 【必須項目】堆積物の種類等を記入してください。		
	たい積物の中に設置されている建築物の概要		スレート葺四方開放		
	散水	装置の種類・型式・基数	スプリンクラー ■社製 KZ-09型 1基	【必須項目】 実際の量や実施頻度を記入してください。	
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)	50		
	散水の方法		50L/t 20回/日		
	防じんカバーの設置状況		なし		
	薬液散布	薬液の種類・名称	—		【必須項目】 処理方法は設備仕様書やメーカーカタログ等を参照に記入してください。
		装置の種類・型式・基数	—		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)	—		
		散布の方法	—		
締固め	装置の種類・型式	—	【必須項目】 実際の量や実施頻度を記入してください。		
	締固め方法	—			
その他	—		【必須項目】 散水等と同等以上の効果を有する措置について記載してください。		

(3) 粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号		D-01	施設番号は、工場等で呼称するものでD-01等で記入してください。	
名称・型式		ベルトコンベア ○社製 BED-2型	一般的な施設名称、メーカー名・型式等を記入してください。	
規模	ベルト幅 (cm) ・ バケット内容積 (m³)	ベルト幅：70cm		
	単基の長さ (m) × 基数	100m × 1基		
	ベルト・バケットの速度 (m/分)	100	【必須項目】ベルトコンベアの規模を設計仕様書等から記入してください。	
	運搬能力 (t/h)	50		
工事の着手年月日		令和○年○月○日	年月日	
工事の完成年月日		令和×年×月×日	年月日	
特定施設等の使用開始年月日		令和△年△月△日	年月日	
運搬物の種類・運搬物の性状・ 通常の間月間運搬量 (t/月)		砂利・40mm以下 1000t/月	【必須項目】種類・性状（粒径）・ 運搬量等を記入してください。	
コンベアがその中に設置されている 建築物の概要		鉄骨平屋建		
使用 及び 管理 の 方法	集じん機	集じん機の種類・型式	バグフィルター △社製 BG-98型	
		集じん機の効率 (%)	99	
	送風機の原動機出力 (KW)	7.5	設備仕様書やメーカー カタログ等を参照に 記入してください。	
	散水 設備	装置の種類・型式		—
		装置の能力 (m³/h)		—
		運搬量当たりの散水量 (L/t)	—	
防じんカバーの設置状況		鉄板製フード		
その他		—	散水等と同等以上の効果を有する 措置について記載してください。	



不要な箇所は二重線を記入してください。

別紙

〔記入例〔設備〕〕

※Altキー+Enterキーを押すと改行できます。

(4) 粉じん発生施設 (粉砕機、摩砕機、ふるい) の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号		E-01	施設番号は、工場等で呼称するものでE-01等で記入してください。
施設の種類の種類		第3項 摩砕機	【必須項目】設置する施設の種類を記入してください。
名称・型式		○摩砕機 ■社製 MA-uy6型	一般的な施設名称、メーカー名・型式等を記入してください。
規模	原動機の定格出力 (KW)	5.5	【必須項目】施設の規模を設計仕様書等から記入してください。
	処理能力 (t/h)	10	
工事の着手年月日		令和〇年〇月〇日	年 月 日
工事の完成年月日		令和×年×月×日	年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		令和△年△月△日	年 月 日
処理対象物の種類・通常の間月間運搬量 (t/月)		土石 250 t/月	【必須項目】処理対象物の種類・月間運搬量を記入してください。
粉砕機・摩砕機・ふるいがその中に設置されている建築物の概要		遮音構造壁式 鉄筋コンクリート造	
使用及び管理の方法	集じん機の種類・型式	バグフィルター ☆社製 BGO-pi型	設備仕様書やメーカーカタログ等を参照に記入してください。
	集じん機の効率 (%)	95	
	送風機の原動機出力 (KW)	7.5	
散水設備	装置の種類・型式	—	
	装置の能力 (m³/h)	—	
	処理量当たりの散水量 (L/t)	—	
防じんカバーの設置状況		—	
その他		—	散水等と同等以上の効果を有する措置について記載してください。